

RCカーでケイリン レギュレーション Ver1.1

2026年10月24日 更新履歴・読み方

2026年10月13日：欠落していた条文を復元・追記しました。

2026年10月24日：既存の電源コネクタ規定の補足説明と、岐阜2026大会の機材・撮影・会場利用・雨天時の取扱いを追記しました。

既存本文と今回の補足

最新更新は2026年10月24日です。本PDFに、10月13日までの訂正・更新履歴と、10月24日付の運用補足をまとめています。2～15ページは従来の規定を基にした公開本文、16ページ以降は運用補足です。

公開共通規定と参加者向け手順の案内を整理しました。車両の準備・確認と当日の具体的な運用は参加者向け資料に従ってください。車両仕様・競技条件を変更・緩和するものではありません。補足第1項は、バッテリー側のバレット端子と、電源接続・遮断用のT型またはXT60との関係を説明します。

補足第2項・第3項は、2026年11月7日・8日の岐阜大会の運用と開催条件です。全会場へ恒久的に適用する共通規則とは区別します。

参照する資料

既存本文と運用補足を併せてご確認ください。当日のスケジュールは後日公開します。

競技方式・進行上の案内とAIによる試験評価は区別します。未公表の配点やジャイロ減点を、この補足によって新たに導入するものではありません。

現地では、会場側および運営の指示に従っていただきますようお願いいたします。

お問い合わせ：info@pro-spec.jp

RC車でケイリン

2026 レギュレーション Ver1.1

2026年10月13日 欠落条文の復元・追記

訂正とご案内

2026年10月13日：10月2日のデザイン更新版に、以前のレギュレーションに記載されていた一部条文の欠落が確認されたため、元の規定内容を変更することなく、欠落条文を復元・追記しました。

本日、2026年10月13日付でレギュレーションPDFを訂正しました。最新版の本文を保持し、復元する条文を冒頭に追記しています。新たな応募条件を設けるための変更ではありません。

すでに応募されている皆様へ

これまでのご案内に一部条文が掲載されておらず、確認の際に混乱を招きましたこととお詫び申し上げます。復元・追記した内容をご確認のうえ、車両の準備をお願いいたします。

これから応募される皆様へ

本PDF冒頭の復元・追記部分と、その後に掲載するレギュレーション本文を併せてご確認ください。応募方法や参加資格は、各イベントの募集要項もご確認ください。

レギュレーションの運用方針

レギュレーションVer1.1の本文は、重大な誤記や条文の欠落など、訂正が必要な場合を除き、原則として変更しません。

今回の修正は、欠落していた条文を復元するための訂正です。既存の規定を削除・変更することを意図したものではありません。

追記・改訂が必要となった場合は、本文冒頭の更新履歴に、日付・対象項目・内容を明記します。

更新履歴

2026年10月13日 | 欠落条文の復元・追記

以下の復元・追記部分は、9月6日更新の保存原本に記載された文言を再掲しています。既存本文の同趣旨の記載と併せてご確認ください。個別項目の番号は復元元の表記です。

復元箇所は、競技の基本方針、クラス案内、車両仕様、走行規則、点検・安全管理、違反時の対応、機器管理、特別規定および参加者への案内です。

メインクラスのモーターは、種類・個数の記述を原文から抜粋して復元します。使用可能なターン数は、最新版本文「5-1. 使用可能モーター」の記載を保持しています。

復元・追記する条文

競技の基本方針・特別規定の適用

RCカーでケイリンは、競輪場という特別な施設を使用して行う、新しいRCモータースポーツです。

競輪場は本来、競輪選手をはじめとする自転車競技関係者が、練習や競技を行うために整備された施設です。

RCカーを走行させるにあたっては、自転車の走行および施設の利用に支障を与えないことを最優先とします。

また、RCカーでケイリンは、単純に最高速度やラップタイムだけを競うレースではありません。

公平な条件の中で、周囲の選手を思いやり、規則と運営からの指示を守りながら競技を楽しんでください。

会場ごとに特別規定が定められている場合は、当該特別規定を優先して適用します。

クラス分け

開催クラスは、ライトクラス・メインクラスとします。

参加経験、操縦技術、車両の走行速度および安定性等を総合的に確認し、各クラスの予選ヒートの組み分けを決定します。

1. ライトクラス

RCカーでケイリンへの参加経験が少ない方や、高速での集団走行に慣れていない方にも参加していただけるクラスです。

初めて参加される方には、ライトクラスからの参加を推奨します。

2. メインクラス

ご自身の車両を安定して操縦し、周囲の車両を確認しながら集団走行できる方を対象とします。

各選手の状態を総合的に評価し、予選ヒートの組み合わせを決定します。

参加資格の詳細は、各イベントの開催要項をご確認ください。

運営が安全な集団走行が困難と判断した場合には、車両設定の変更、ヒート変更、ライトクラスへの変更、または走行中止をお願いする場合があります。

全クラス共通規定

1. シャーシ

使用可能なシャーシは、1/10電動フルタイム4WDツーリングカーシャーシとします。

この条件の範囲内では、シャーシの指定はありません。ただし、本規則に定める車両・安全条件を満たしてください。

フロントワンウェイおよびセンターワンウェイの使用は禁止します。

2. 車両総重量

車両総重量は、1,600g以下とします。

3. ウレタンバンパー

シャーシ最前部には、必ずウレタン製バンパーを装着してください。

- シャーシ最前部から、1cm以上前方へ突出していること。
- ウレタン部分の厚みを1cm以上確保すること。
- バンパーは本来の機能を果たすよう、確実に固定してください。
具体的な確認方法は参加者向け案内に従ってください。

4. 最低地上高

最低地上高は、車両の最も低い部分で7mm以上を確保してください。

車両上部から荷重が加わり、サスペンションが沈み込んだ状態でも、シャーシ、バンパー、ボディその他の部分が路面へ接触しないよう調整してください。

サスペンションがフルボトムした状態でも、路面を擦らないことを必須とします。

5. ダンパーの作動・可動域

ダンパー（ショックアブソーバー）は、正常に作動する状態としてください。

ピストンが実際に動作し、5mm以上のストロークを確保してください。

6. シャーシ下面

シャーシ下面から、ビスの頭、ナットその他の金属部品等が突出しないようにしてください。

シャーシ下面は、突起物がない、フラットな状態とします。

7. ステアリング機構・サーボセイバー

サーボセイバーを使用する際には、スプリングの強化タイプを使用してください。ダイレクトサーボホーンを推奨いたします。

サーボホーンおよびステアリング機構は、取扱説明書に従って確実に組み付け、正常に作動する状態としてください。

8. タイヤ・インナー・ホイール

必ず、主催者から支給された指定タイヤを使用してください。

持ち込みタイヤおよび過去に使用したタイヤは使用できません。

指定タイヤの基本仕様は、次のとおりとします。

- ・タイヤ：SWEEP製 DW-36R
- ・インナー：EXP-LSシリーズ
- ・ホイール：WKSシリーズ（24mm幅）

会場や路面状況により、指定仕様を変更する場合があります。各イベントで案内する指定品を使用してください。

タイヤ・インナー・ホイールの追加加工は禁止します。

グリップ剤およびタイヤウォーマーの使用は禁止します。

タイヤの追加購入は、従来の適用条件に従います。具体的な条件・手順は参加者向け案内でご確認ください。

9. ボディ

使用可能なボディは、タミヤ製1/10電動ツーリングカー用190mmボディで、実車の市販車、または市販車をベースとしたレース車両をモチーフとしたデザインに限りします。

以下のボディは使用できません。

- ・フォーミュラカー
- ・実車が存在しないもの
- ・TS050などのLMH・LMPカー

ボディのカットラインは、取扱説明書どおりとしてください。

使用可否が不明な場合は、事前に運営協議会へお問い合わせください。

10. リアウイング

使用可能なリアウイングは、次のいずれかとします。

- ・ボディ付属の純正ウイング
- ・タミヤ製オプションウイング

他社製ウイングおよび加工品は使用できません。

ウイングは、取扱説明書に準じた位置へ取り付けてください。

空力性能の向上を目的とした延長、追加加工および形状変更は禁止します。

11. バッテリー

使用可能なバッテリーは、ハードケース入りLiPoバッテリー・2セルを1個とします。

- ・HVモードでの充電は禁止します。
- ・出走前の電圧は、8.4V以下としてください。
- ・バッテリーに適合した専用充電器を使用してください。
- ・充電中および保管時は、バッテリーセーフティバッグを使用してください。
- ・使用状態の確認は、参加者向け案内に従ってください。

充電・保管時の確認と当日の運用は、取扱説明書および参加者向け案内に従ってください。

12. 電源コネクター・端子の保護

電源接続には、コネクターの使用を義務付けます。

使用可能なコネクターは、次のいずれかとします。

- T型プラグ
- XT60プラグ

バッテリー端子は適切に絶縁・保護してください。具体的な方法は参加者向け案内に従ってください。

ライトクラス規定

1. モーター

指定モーターは、ORCA Boostreme3 13.5T・センサー付きブラシレスモーターを1個とします。

ロゴ無し仕様も使用可能です。

モーターの進角は、出荷状態としてください。

3. ESC

- ブースト禁止
- ターボ禁止
- ブリンキーモード推奨

ノンブーストESC、またはブースト・ターボ機能を無効にできるESCを使用してください。

日本国内の正規販売代理店取扱品を推奨します。

4. バッテリー容量

全クラス共通のバッテリー規定に適合する製品を使用し、容量6000mAh以上を推奨します。

メインクラス規定

モーターの種類・個数（原文抜粋）

センサー付きブラシレスモーターを1個

使用可能なターン数は、最新版本文「5-1. 使用可能モーター」を参照してください。

2. 最終減速比

一律の数値制限は設けません。

ただし、ご自身の操縦技術および車両状態に応じて、安全に走行できる設定としてください。

3. ESC

- ブースト設定可

- ・ターボ使用可

日本国内の正規販売代理店取扱品を推奨します。

4. 車両設定・ステップアップについて

モーターや最終減速比、ESCを含む車両設定は、ご自身が無理なく、安定して走行できる範囲で行ってください。

練習会への参加経験やイベントへの参加回数などにより、各選手の操縦技術や集団走行への慣れには違いがあります。

周囲の選手に無理に合わせることなく、ご自身の技量に応じて、少しずつステップアップしてください。

4.5Tが使用可能であることは、4.5Tでの走行を推奨するものではありません。

運営が走行速度、車両の挙動または操縦状況から安全な走行が困難と判断した場合には、モーター、最終減速比、ESC設定等の変更をお願いする場合があります。

レース・走行規則

1. 基本的なレース方式

ペースカーの先導で2.5週の隊列走行・位置取りを行い、ペースカー離脱後の残り1.5周をスプリントレースとします。

ヒート数、1ヒートあたりの走行台数および組み分けは、参加状況や各選手の走行状態を踏まえて運営が決定します。

レース表および詳細な進行は、各イベントで別途ご案内します。

2. ペースカーの追い越し禁止

ペースカーが離脱する前に、ペースカーを追い越してはいけません。

離脱前にペースカーを追い越した場合は、失格とします。

3. 接触・進路妨害の禁止

周囲の車両を確認し、接触を避けて走行してください。

以下の行為を禁止します。

- ・意図的な接触
- ・危険な割り込み
- ・危険な幅寄せ
- ・後続車両への進路妨害

4. 内側からの追い越し禁止

外帯線より内側を走行している車両を、さらにその内側から追い越した場合は、失格とします。

また、コーナー内側からの追い越しは禁止します。

5. 退避路・禁止走行帯

退避路を走行すること、および運営が指定する禁止走行帯へ侵入することを禁止します。

誤って退避路へ入った場合は、周囲の安全を確認したうえで、速やかに走行エリアへ戻ってください。

退避路を走行し続けた場合、または退避路を走行して前車を追い越した場合は、失格とします。

6. 走行時の車両確認

車両の確認と走行中の対応は、参加者向け案内および当日の運営指示に従ってください。

車検・安全判断・ペナルティ

1. 車検

安全確保のため、開催中は随時、車検を実施します。

車両が本規則に適合していることを確認できるよう、運営による点検にご協力ください。

2. 走行前・走行後の点検

走行前後の準備・確認は参加者向け案内に従ってください。

ビスは、メーカー指定または十分な締結強度を確保できる適切なものを使用してください。

3. 運営による安全判断

運営は、規定数値への適合に加え、車両と走行の状態を総合的に確認し、必要に応じて走行中止や改善を求める場合があります。

最終的な走行可否は、運営が安全を最優先して判断します。

4. 規則違反への対応

走行中の偶発的な事象と、規則を故意に無視する行為は区別して判断します。

規則を意図的に回避する行為、車検時と異なる不適合状態で走行する行為、運営からの安全上の指示に従わない行為は、重大な規則違反として扱います。

違反内容および危険性に応じて、以下の措置を行う場合があります。

1. 注意

2. 設定・車両の改善指示

3. 走行中止
4. 当該レースの失格
5. 当日の参加停止
6. 今後の参加資格の停止または取消し

重大な危険行為または故意による規則違反については、上記の段階を経ず、直ちに参加を停止する場合があります。

機器の管理・会場利用

1. 使用機器の管理

モーター、ESC、送信機、受信機、バッテリー等は、参加者自身で適切に選択し、設定・整備・管理してください。

安全性の確保および国内サポートの観点から、日本国内の正規輸入代理店または正規販売ルートを通じて販売された製品の使用を強く推奨します。

2. ESC・モーターの冷却

冷却および電源操作の手順は、製品の取扱説明書および参加者向け案内に従ってください。

各イベントの特別規定・参加される皆様へ

会場の条件や開催内容に応じて、本レギュレーションに加えて特別規定を設ける場合があります。

本レギュレーションに記載のない事項については、別途、ご案内する「イベントへ参加される選手の方へ」をご参照ください。

不明な点がございましたら、どうぞ遠慮なくお問い合わせください。

参加される皆様にとって、かけがえのない思い出となるイベントにしたいと考えております。

互いを思いやり、規則を守りながら、安全に、そして思い切りRCカーでケイリンを楽しみましょう。

Race with Respect. Build the Future.

RCカーでケイリン 運営協議会

担当：細田健之

お問い合わせ：hosoda-k@pro-spec.jp

2026年10月2日 | デザイン更新

当時の案内：

デザインを変更しました。内容の変更はございません。

今回、その更新版に含まれていなかった旧版の条文を、2026年10月13日付の冒頭追記で復元しています。

2026年9月15日 | 追加・明確化

Ver.1.1 2026 年 9 月 15 日 更新内容

今回、以下の内容を追加・明確化しました。

1. 規則の解釈について

参加者独自の拡大解釈や、規則の意図を回避するための加工・部品追加・構成変更等を認めないことを明記しました。

技術的な意見や提案については、必要に応じて練習走行会、イベント、走行テスト等を通じて評価・検証したうえで、今後の規則変更を検討します。

2. 電源コネクターについて

電源コネクターは、T 型プラグまたは XT60 プラグを使用し、車両 1 台につき 1 系統・1 組を基本とすることを明記しました。

同一用途のコネクターを複数取り付けるなど、規則の趣旨または安全対策の意図と異なる構成は認めません。

3. イベント中の安全判断について

イベント中に、部品、コネクター、配線、電装品等について、容量、強度、温度または安全性等に不足があると運営が判断した場合、その場で変更・改善をお願いする必要があることを明記しました。

4. 想定外の事象への対応について

現行レギュレーションでは十分に対応できない事象や、安全上の問題がイベント中に確認された場合には、当該イベント中に暫定的な追加規定または変更を行う場合があることを明記しました。

イベント終了後に評価・検証を行い、必要に応じて正式なレギュレーションまたは特別規定へ反映します。

5. 運営からの指示について

安全上または競技運営上、運営から仕様、設定、取付方法、走行方法等について変更・改善を求められた場合には、その指示に従っていただくことを明記しました。

6. 規則の意図的な回避および運営指示に従わない場合について

規則の趣旨を意図的に回避する行為、独自の解釈によって運営の意図とは異なる仕様を継続する行為、または運営からの指示に従わない行為については、当日の走行または参加をお断りする場合があります。

また、その内容や状況によっては、今後開催する「RC カーでケイリン」への参加をお断りする場合があることを明記しました。

レギュレーション本文

10月2日版を基にした本文です。10月24日付で公開共通規定と参加者向け手順の案内を整理しました。冒頭の最新案内および補足と併せてご確認ください。

1. RC カードでケイリンとは

RC カードでケイリンは、単純に最高速度だけを競うレースではありません。

選手同士が接触しないこと、ペースカーを追い越さないこと、危険な割り込みをしないこと、コーナー内側から追い越しを行わないこと、禁止走行帯へ侵入しないこと。

これらのルールを守りながら、次の要素を競い合う、新しい RC モータースポーツです。

- ・隊列維持
- ・駆け引き
- ・ライン取り
- ・スロットルコントロール
- ・周囲との協調性

RC カードでケイリンでは、単に順位や速さだけでなく、**「どのように走ったか」**も重要な評価対象となります。

2. 全クラス共通規定

2-1. シャーシ

シャーシのメーカーおよび製品については指定しません。

ただし、使用できる車両は、1/10 電動 4WD ツーリングカーシャーシに限ります。

2-2. ゼッケン

ゼッケンは、運営協議会が指定した位置に必ず貼り付けてください。

2-3. 走行規則

以下の行為を禁止します。

- ・ペースカーの追い越し
- ・危険な幅寄せ
- ・意図的な接触
- ・コーナー内側からの追い越し
- ・禁止走行帯への侵入
- ・他車の走行を妨害する行為
- ・その他、運営が危険または不適切と判断する走行

2-4. 規則の解釈について

本レギュレーションに記載された内容について、参加者独自の判断による拡大解釈や、規則の意図を回避するための加工・部品追加・構成変更等は認めません。

レギュレーションに記載のない仕様や加工等を希望する場合は、必ず事前に運営へ確認してください。

技術的なご意見や改善提案は受け付けますが、個別のご指摘やご要望を理由として、その都度レギュレーションを変更するものではありません。

安全性または競技運営上、重要と判断した内容については、イベント、練習走行会、運営による走行テスト等を通じて評価・検証を行い、必要に応じて今後のレギュレーションへの反映を検討します。

2-5. 電源コネクター

電源接続には、必ずコネクターを使用してください。

使用可能なコネクターは、原則として以下のものとします。

- ・T型プラグ
- ・XT60 プラグ

電源接続に使用するコネクターは、車両1台につき1系統・1組を基本とします。

容量増加等を目的として、同一用途のコネクターを複数取り付けるなど、規則の趣旨または運営が意図する安全対策と異なる構成は認めません。

バッテリー端子、コネクターおよび配線は、適切に固定・保護してください。具体的な確認方法は参加者向け案内に従ってください。

2-6. タイヤ

必ず、運営が指定または支給したタイヤを無加工で使用してください。

持ち込みタイヤは使用できません。

タイヤの追加購入・交換は、従来の適用条件および運営の確認に従ってください。具体的な条件・手順は参加者向け案内でご確認ください。

3. モーターに関する共通規定

モーターは、各クラスで定められた使用可能範囲に従ってください。

各クラスのモーター規定、ESC 設定および最終減速比は、それぞれのクラス規定に定めるものとします。

運営は、車両の状態、走行速度、安全性および他車とのバランス等を総合的に確認し、必要に応じて走行仕様の変更または改善をお願いする場合があります。

4. ライトクラス

4-1. 使用可能モーター

以下のモーターを使用してください。

- ・ORCA Boostreme3 13.5T
- ・ロゴ無し仕様も使用可能

4-2. ESC 設定

- ブースト機能は禁止
- ターボ機能は禁止
- ブリンキーモードを推奨

4-3. 最終減速比

- FDR 3.7 固定

4-4. バッテリー

- LiPo 2 セルまで使用可能
- 6,000mAh 以上を推奨

5. メインクラス

5-1. 使用可能モーター

以下のモーターを使用可能とします。

- 4.5T
- 5.0T
- 5.5T
- 6.5T
- 7.5T
- 8.5T
- 10.5T

5-2. ESC およびギア比

ESC 設定および最終減速比については、使用するモーター、車両の状態、走行速度および安全性を総合的に確認したうえで、運営が必要な指示を行う場合があります。

5-3. 予選ヒートの組み合わせ

参加者の車両、走行状態、速度、安全性等を総合的に確認し、予選ヒートの組み合わせを決定します。

メインクラスでは、無理な速度設定を避け、安定した走行ができる仕様を推奨します。

6. 安全規定

6-1. バッテリーの安全管理

- バッテリーセーフティバッグを使用してください。
- 充電および保管時は、バッテリーの状態を十分に確認してください。
- 当日の運用は参加者向け案内に従ってください。

6-2. ESC・モーターの冷却

冷却および再走行までの確認手順は、製品の取扱説明書および参加者向け案内に従ってください。

7. イベント中の安全判断について

運営は、レギュレーションへの適合に加え、車両や使用機器の状態を総合的に確認します。イベントまたは練習走行中に必要と判断した場合には、その場で仕様、設定、取付方法または使用方法等の変更・改善をお願いします。

また、現行レギュレーションでは想定していなかった事象や、規則の不備・不足が確認された場合には、安全確保および円滑な競技運営を目的として、当該イベント中に暫定的な追加規定または変更を行う場合があります。

この場合、本レギュレーションに具体的な記載がない事項であっても、当日の安全確保を目的とした運営からの指示を優先します。

運営から変更・改善を求められた場合は、速やかに対応してください。

改善が確認されるまで、走行を認めない場合があります。

イベント中に確認された問題や改善事項については、イベント終了後に運営協議会で評価・検証し、必要に応じて、今後のレギュレーションまたは各イベントの特別規定へ反映します。

8. 規則違反および運営指示について

参加者からのご意見や技術的なご提案は受け付けます。

ただし、運営方針や規則に対する意見があることを理由として、参加者自身の判断で規則とは異なる仕様、加工または部品追加等を行うことは認めません。

運営からは是正または変更を求められた場合は、その指示に従ってください。

次の行為が確認された場合には、当日の走行または参加をお断りする場合があります。

- 規則の趣旨を意図的に回避する行為
- 独自の解釈により、運営の意図とは異なる仕様を継続する行為
- 運営からの指示に従わない行為
- 安全または競技運営を妨げる行為
- 他の参加者への迷惑行為

また、行為の内容や状況によっては、今後開催する「RCカーでケイリン」への参加をお断りする場合があります。

最終的な走行可否および参加可否については、安全性、公平性およびイベント運営を総合的に考慮し、運営が判断します。

9. 会場利用について

9-1. ゴミ

ゴミは各自でお持ち帰りください。

9-2. ピットエリア

- ・常に整理整頓を行ってください。
- ・床や施設を汚さないよう注意してください。
- ・使用した場所は、各自で清掃してください。

9-3. 火気

- ・会場内は火気厳禁です。
- ・はんだ作業は、運営が指定した場所でのみ行ってください。

9-4. 車検

安全確保のため、車検を実施します。

車検は受付時だけでなく、イベント中も必要に応じて行います。

運営が必要と判断した場合は、再車検または車両確認を実施する場合があります。

9-5. 撮影

イベント中は、写真および動画の撮影を行います。

撮影した写真や動画は、広報、記録および SNS 等で使用する場合があります。あらかじめご了承ください。

Race with Respect. Build the Future.

RC カードでケイリン運営協議会

レギュレーションVer1.1の補足説明・岐阜2026大会の運用補足

2026年10月24日 追記

【既存のレギュレーションとの関係】

最新更新は2026年10月24日です。10月13日付までの復元・追記と今回の補足を、同じレギュレーションVer1.1にまとめています。公開共通規定と参加者向け手順の案内を整理し、具体的な準備・確認と当日の運用は参加者向け資料でご案内します。車両仕様・競技条件は維持します。

本書の第1項は、既存の電源コネクタ規定について、バッテリー側の端子との関係を明確にする補足説明です。既存本文の禁止事項、バッテリーの安全条件、端子・配線の保護等を削除したり、緩和したりするものではありません。

第2項・第3項は、2026年11月7日・8日の岐阜大会に適用する運用補足と開催条件です。全会場に恒久適用する共通規則とは区別します。

レギュレーションVer1.1の記載では、バッテリー側のバレット端子と指定コネクタの関係、および「1系統・1組」の対象範囲について、説明が十分ではありませんでした。

参加者の皆様が同じ内容を確認して準備できるよう、これまで個別にご案内した内容を以下のとおり補足いたします。ご確認の際に混乱を招きましたことをお詫び申し上げます。

あわせて、10月16日の参加者向け共通案内でお知らせした機材、撮影、会場情報、施設利用および雨天時の開催・返金条件を、岐阜大会の運用補足としてまとめます。その後の個別回答による補足も含め、一次募集・二次募集の参加者ともに、同じ取扱いです。

1. 既存の正式条文に関する補足説明：電源コネクタ規定の対象範囲

本補足は、次の記載に関する説明です。

- ・全クラス共通規定「12. 電源コネクタ・端子の保護」
- ・2026年9月15日更新履歴「2. 電源コネクタについて」
- ・レギュレーション本文「2-5. 電源コネクタ」

本文2-5の「使用可能なコネクタは、原則として以下のものとします」「電源接続に使用するコネクタは、車両1台につき1系統・1組を基本とします」という記載は維持します。今回の岐阜大会の準備は、これまでの共通案内どおりT型またはXT60としてください。

(1) バッテリー側のバレット端子

4mm・5mmのバレット端子を使用するバッテリーも使用可能です。バッテリーから直接コードが出ている製品に限定するものではありません。

この接続方式だけを理由にバッテリーを買い替えていただく必要はありません。

バッテリーの種類、セル数、電圧、充電・保管等に関する既存規定は、引き続き適用します。

(2) 指定コネクタの接続位置と「1系統・1組」

バレット端子からESCへ接続する配線の途中に、T型またはXT60コネクタを設け、その部分で電源の接続・遮断を行える構成としてください。

接続例：

バッテリー → バッテリー側のバレット端子 → 配線 → T型またはXT60コネクター1組 → ESC

「1系統・1組」は、この電源の接続・遮断に用いるT型またはXT60コネクターを対象とします。

バッテリー本体への接続に用いるバレット端子は、指定コネクターの「1系統・1組」には含めません。

既存本文の次の規定は、引き続き適用します。

「容量増加等を目的として、同一用途のコネクターを複数取り付けするなど、規則の趣旨または運営が意図する安全対策と異なる構成は認めません。」

T型やXT60を複数組並列に配置する構成は、これに該当します。今回の補足は、バッテリー本体との接続に用いるバレット端子と指定コネクターを区別するものであり、その他のコネクターを自由に追加することを認めるものではありません。

複数組を並列に配置する場合だけでなく、同一用途のコネクターを複数取り付けするなど、上記の禁止事項に該当する構成は認めません。

XT90についてもご提案をいただいておりますが、今後の検討事項としております。今回の岐阜大会では、これまでのご案内どおり、電源の接続・遮断に用いるコネクターはT型またはXT60でご準備ください。

(3) 端子・配線の保護

端子・配線の絶縁、固定・保護については、既存本文の規定を引き続き適用します。

2. 岐阜大会の運用補足（機材・走行前の運用・撮影・会場利用）

以下は、2026年11月7日の前日練習および11月8日のレースにおける取扱いです。一次募集・二次募集の参加者ともに共通です。

会場の利用条件を尊重し、安全で円滑な運営と継続開催のため、走行に必要な最小限の機材でご準備いただきますようお願いいたします。

追加装備についてのご意見もいただいておりますが、まずは車両の組立て・調整・整備によって、安定して走行できる車両づくりをお願いいたします。

冷却ファンやジャイロなど、今回の取扱いを以下に示しております。大会理念、レギュレーションおよび本運用補足に沿ってご準備ください。

レギュレーションに記載のない仕様や加工等を希望する場合は、同規定に従い、事前に運営へご確認ください。

また、今回の参加車両については、追加装備の内容を記録するため、構成や取付方法などの確認をお願いする場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

(1) 走行前の電源投入と車両の受渡し

走行前の電源投入および車両の受渡しは、運営の案内・指示に従ってください。具体的な手順は、参加選手向けの案内でお知らせします。

(2) 追加計測機器と内蔵ログ機能

テレメトリー用の追加機器、GPS、別体のデータロガー、追加センサーなどを、計測のために車両へ別途追加することは認めておりません。バンク角や走行時のGなどの取得を目的とする追加機器も対象です。

搭載機器の機能や記録内容を確認し、会場情報を適切に管理するための取扱いです。

ESCなど、走行に必要な機器に標準搭載されているログ機能は使用可能です。独立した追加計測機器とは区別して取り扱います。

ただし、内蔵ログ機能を使用できることは、外付けの通信・計測機器を接続したまま走行することを認めるものではありません。

ORCA Bluetoothや同様の他社製外付け通信機器は、前日練習およびレースを含め、走行時には取り外してください。

操縦補助として使用するステアリングジャイロについては、本書第2項（4）の取扱いに従ってください。

（3）冷却ファン

冷却ファンは、ESCやモーターの温度管理に必要な装備として使用を認めます。メーカー純正品に限定せず、他社製ファンへの交換も可能です。

接続する各機器のメーカーが定める使用条件の範囲内で使用してください。

ファンブスターは、今回は使用せずにご準備ください。

取付け・固定および保護は、既存の規定に従って適切に行ってください。

（4）ステアリングジャイロ

今回の岐阜大会では、ステアリングジャイロは使用可能です。お申し込み時点で禁止としていなかったことを踏まえた取扱いです。

運営としては、車両の調整とご自身の操縦によって安定して走行すること、この競技の大切な要素と考えております。可能な範囲で、ジャイロに頼らず走行できる車両づくりにも取り組んでいただければ幸いです。

今後の使用規定については、今回の走行状況やご意見も踏まえて検討します。

（5）会場利用・運営の指示

本イベントは、競輪場から特別な許可をいただいて開催しております。施設の保護や清掃に加え、セキュリティや会場ごとの利用条件に沿った運営が必要です。

施設内への立入りは必要最小限とし、運営が案内する区域・移動経路に従ってください。

会場の利用条件を尊重し、安全で円滑な運営と継続開催のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

通常の車両準備や会場内での行動は、大会理念、レギュレーション、本運用補足および開催案内、会場内の表示・案内に沿って、各自でご対応ください。

運営が安全性や施設管理などの観点から、車両・機材・行動について対応や調整が必要と判断した場合は、具体的な案内・指示を行います。その際は、速やかにご対応をお願いいたします。

会場を清潔に保ち、撤収時刻をお守りください。

（6）機材の持込み・カメラ搭載眼鏡・撮影・会場情報の取扱い

既存のVer1.1本文「9-5. 撮影」には、イベント中の写真・動画撮影と、広報・記録・SNS等での使用についての案内があります。この記載を保持したうえで、岐阜大会における参加者の機材持込み・撮影は、以下の区域・使用方法に従ってください。

当日は、一般の方が立ち入れない場所や、セキュリティ上の管理が必要な場所を使用・通過いたします。

機材は、場所と使用方法によって取扱いが異なります。以下の内容を必ずご確認ください。

【持込み・撮影を禁止する区域】

バンク内、警備室、コントロール室、準備室など、情報管理上の制限がある指定区域には、スマートフォン・携帯電話・撮影機材を持ち込むことはできません。これらの区域内での撮影も禁止です。

また、RCカーの走行に必要な機器とは別に、計測を目的として持ち込む装置についても、これらの指定区域への持込みは禁止です。

上記2.（4）で使用を認めているステアリングジャイロ、および上記2.（2）で使用を認めている走行機器の内蔵ログ機能は、それぞれの取扱いに従います。

眼鏡型カメラなど、身に着けるタイプの撮影機器も持込み禁止の対象です。電源を切った状態であっても、指定された持込み禁止区域へは持ち込まないでください。

移動のために通過する場合も同様です。移動経路や機材の保管方法については、開催前の案内および現地の指示に従ってください。

【操縦場所・メンテナンス場での眼鏡型カメラ】

眼鏡型カメラの持込み・保管は可能です。

ただし、撮影できるのは、操縦場所でRCカーを操作している間に、バンク方向を撮影する場合に限ります。

RCカーを操作する時間以外は、眼鏡型カメラを取り外し、電源を切ってください。メンテナンス場での撮影は行わないでください。

操縦場所であっても、セキュリティ関連施設や関係者専用区域など、バンク以外にカメラを向けたり、撮影したりしないでください。

【携帯電話での撮影】

操縦場所およびメンテナンス場には、セキュリティ関連施設や関係者専用区域が隣接しているため、スマートフォン・携帯電話での撮影はできません。

本運用補足および開催案内に記載のない機材の持込みや撮影方法については、事前に運営へご確認ください。

【会場情報の取扱い】

会場の非公開部分の画像・映像、セキュリティや管理に関する情報、公開を前提としていない施設情報については、第三者への提供やSNS等への掲載を行わないでください。

機器の機能や使用方法について、運営から確認させていただく場合があります。取扱いについて指示があった際は、速やかに対応をお願いいたします。

3. 岐阜大会の開催条件：雨天時の開催・中止および参加費の取扱い

本大会は雨天決行です。

ただし、天候、走路の状態、会場の利用条件、来場時および走行時の安全確保の状況により、走行の中断、内容の変更または開催の中止を判断する場合があります。

嵐や突風などにより安全を確保できない場合や、会場設備の損傷などにより走行できない場合は、無理に開催・走行を継続いたしません。

参加費の取扱いは、次のとおりいたします。

【開催前に大会全体の中止を決定した場合】

お支払い済みの参加費を返金いたします。

【受付後、一度も走行できずに中止となった場合】

受付完了後であっても、天候等による大会の中止により、前日練習・レースを通じて一度も走行できなかった場合は、お支払い済みの参加費を返金いたします。

指定タイヤを配布済みの場合は、運営でタイヤを回収したうえで返金いたします。

受付やタイヤの受取りが済んだことだけを理由に、返金の対象外とするものではありません。

【前日練習で走行した後、レースが天候により中止となった場合】

11月7日の前日練習で既に走行された方は、11月8日のレースが天候により中止となった場合も、参加費の返金はいません。

参加費には指定タイヤが含まれており、前日練習と指定タイヤを既にご利用いただいていることを踏まえた取扱いです。あらかじめご了承ください。

【荒天が予想される場合のタイヤの取扱い】

荒天が予想される場合は、配布された指定タイヤの封を走行直前まで開けずに保管してください。

開封のタイミングは、運営の案内に従っていただきますようお願いいたします。

なお、ここでいう「一度も走行できなかった場合」とは、大会の中止によって走行できなかった場合を指します。参加者ご自身の都合による欠席や、車両の不調による未走行などとは区別して取り扱います。

両クラス参加で走行状況が異なる場合など、上記に当てはまらないケースについては、参加内容とタイヤの使用状況を確認のうえ、個別にご案内いたします。

上記の不返金の取扱いは、前日練習で走行された後の天候によるレース中止を対象とするものです。主催者の責任による中止や、法令に基づき返金等が必要となる場合に適用するものではありません。

RCカーでケイリン運営協議会